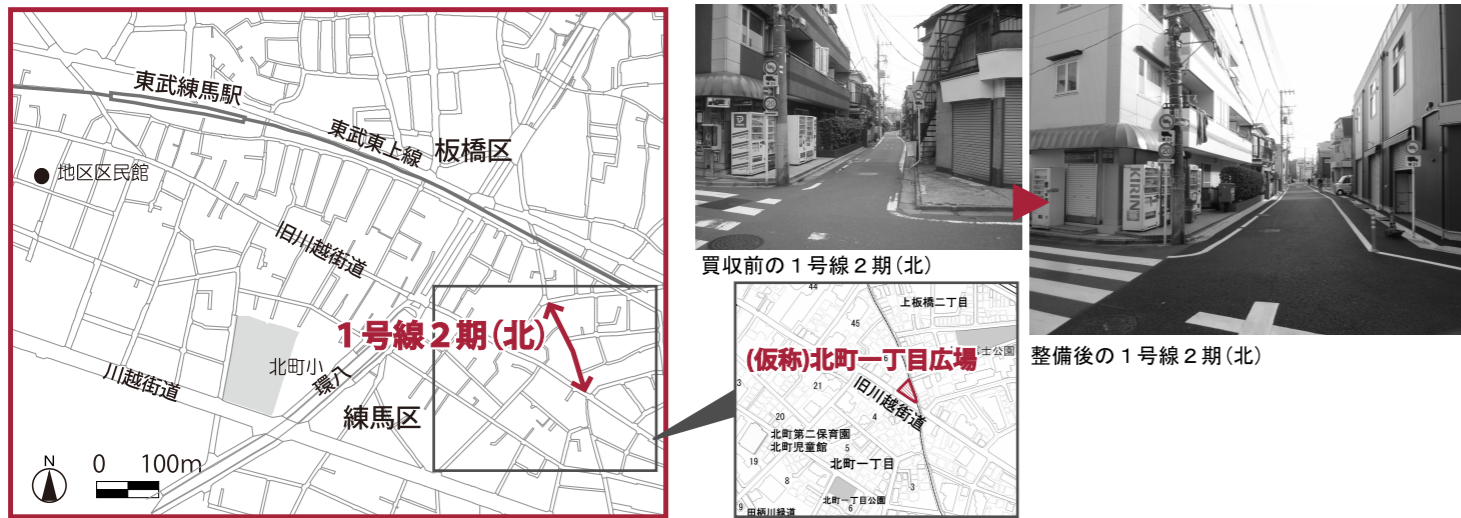


主要生活道路 1号線 2期(北)の拡張整備工事が完了しました

主要生活道路 1号線 2期(北) (下図参照) の整備工事を行い、6m道路への拡幅が完了しました。ご協力ありがとうございました。

今後は、1号線 2期(北)の南端に位置する(仮称)北町一丁目広場について、道路に付属する広場とするための検討を進めていく予定です。

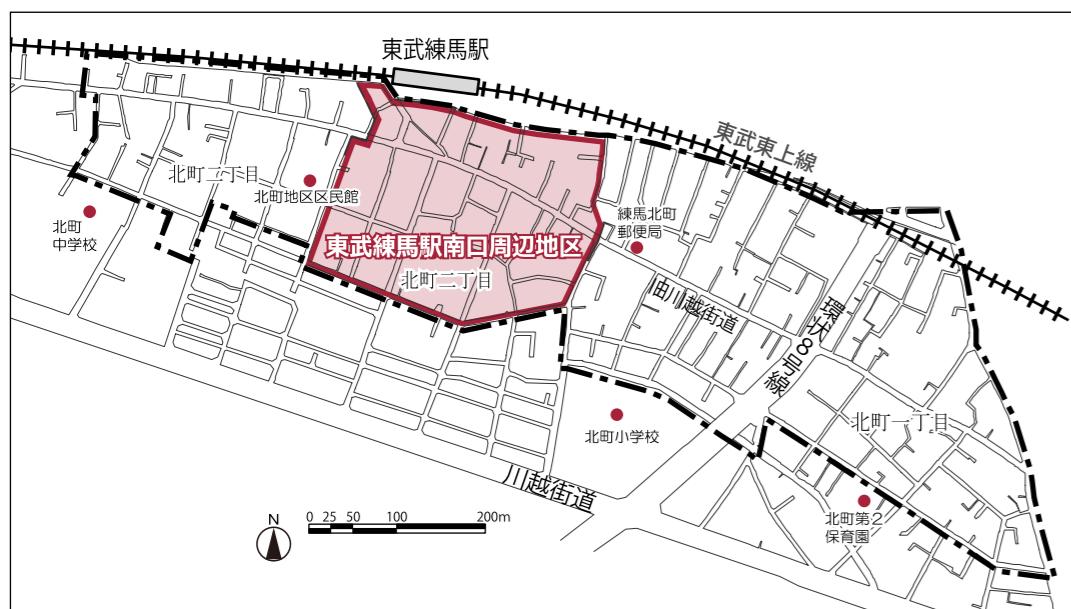


東武練馬駅南口周辺地区地区計画変更素案についての説明会開催を予定しています

平成22年に策定した「東武練馬駅南口周辺地区地区計画」について、住宅地のまちづくりのルールを追加するため、平成26年度から検討会による検討を進め検討会案を取りまとめました。

区ではこのたび、検討会案をもとに、「東武練馬駅南口周辺地区地区計画変更素案」を作成しましたので今後、説明会を開催する予定です。

開催予定 平成30年 2月上旬頃



※地区内に土地・建物をお持ちの方及びお住いの方には、開催日の2週間前を目途に改めて開催案内をお送りします。

※説明会は、2日間開催予定です。なお、説明会は両日とも同様の内容で予定しています。



北町地区まちづくりニュース

発行:練馬区都市整備部 東部地域まちづくり課
編集協力:練馬区総合計画研究所 (まちづくりコンサルタント)

平成29年12月 第56号

北町地区では、災害に強く安全で住みよいまちをめざして、密集住宅市街地整備促進事業を進めています。この事業では、災害に強い住宅への建替えの促進、道路・公園などの基盤整備に取り組んでいます。

今回のニュースでは、(仮称)北町辻広場の整備検討の報告および検討会案の紹介、主要生活道路 1号線 2期(北)の整備工事完了報告、東武練馬駅南口周辺地区地区計画の変更素案説明会の予定についてお知らせします。

(仮称)北町辻広場の整備に向けた検討を進めています

練馬区では、密集住宅市街地整備促進事業の一環で平成23年度にまちづくり用地として取得した(仮称)北町辻広場について、緑地として整備を進めていきます。



1 (仮称)北町辻広場について

(仮称)北町辻広場は、練馬区がまちづくり用地として取得した土地で、旧川越街道と東武練馬駅に向かう道の角に位置し、北町地区の中心部にあります。



広場予定地
面積:約190㎡

2 (仮称)北町辻広場検討会の立上げ

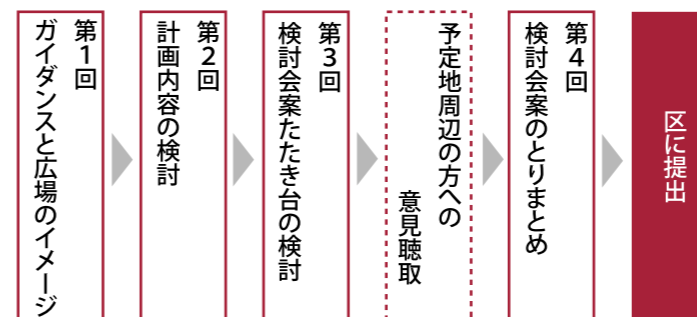
地域住民の意見を取り入れた整備を進めるため、町会・商店会及び近隣の住民等で構成される(仮称)北町辻広場検討会により検討を進めてきました。



検討会案の詳細は2~3ページで紹介!

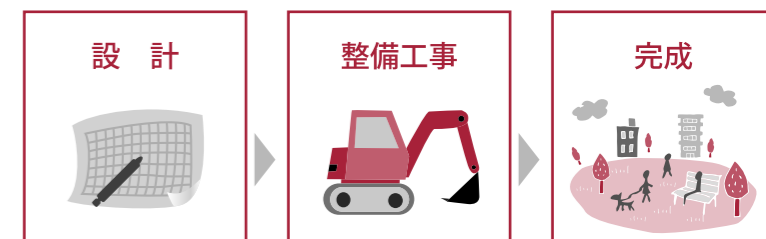
3 検討経緯

検討会案をとりまとめるにあたっては以下のながれで検討を進めてきました。



4 今後の予定

今後は、平成31年度初旬の開園を目指し、検討会案をもとに区が設計案を作成していきます。



設計案や整備工事の進捗等は、まちづくりニュースでお伝えしていきます

問合せ先

練馬区 都市整備部 東部地域まちづくり課
TEL: 03-5984-4749 (ダイヤルイン)
Fax: 03-5984-1226
e-mail: TOUBU@city.nerima.tokyo.jp

担当:根木・堀江

北町辻広場検討会案を紹介します！

(仮称)北町辻広場検討会でとりまとめた計画案と計画のイメージについて紹介します。今後は、この計画案をもとに区で基本設計・実施設計を行い整備を進めていく予定です。

前提条件

- ① 規模が小さいため、遊具や施設を置かない
- ② 西側隣家との境界部は、広場工事の際に柵を作り直す
- ③ 緑被率50%を確保する

コンセプト

下練馬宿及び旧川越街道の中心であり、北町上宿公園、石観音、浅間神社などに繋がる場所であることから、イベントで利用したり、買物などの途中で腰を下ろせる身近な広場とする。

通勤通学の自転車が放置されたり、酔客などに汚されにくい広場とする。

計画案と計画イメージ

広場

- ・イベントでの利用も想定して、設備は最低限のものとし、できる限りまとまった広場空間を確保する。



ダスト舗装のイメージ▶

隣地境界部

■柵・塀

- ・過去に醤油蔵があった面影をイメージした、木目調の柵・塀で構成する。

■植栽

(西側)

塀寄りから、

- ① 上宿公園西側のような多様な細長い樹 (北側よりは低め。後ろの木目調の塀が少し見えるようにする。)
- ② 人が近寄りにくい枝がしっかりした当たると痛い低木
- ③ 草等

の3段階の植栽を配置し、お住まいの方の生活の支障にならないように、広場との距離を確保する。

(北側)

塀寄りから、

- ① 上宿公園西側のような多様な細長い樹 (西側より高め。後ろの木目調の塀が少し見えるようにする。)
- ② 草等

の2段階の植栽を配置し、隣接建物のダクトを隠すなど周囲の美観に配慮する。

(全体)

- ・中木は、さまざまな樹種を混ぜたり、見通しや落とす影を考慮しながら、均一な景観にならないように配慮する。
- ・草等は、イベント時には多少は足を踏み入れても枯れにくいものとする。

設備

- ・宿場町であったまちの歴史や練馬大根をアピールするモニュメントや、下練馬宿を紹介する看板を設置する。 ※看板の一部に当広場付近の古地図を掲載
- ・ちがや馬を作るためのチガヤを育てる場所を作る。
- ・買物などの途中で腰を下ろせるベンチを設置する。
- ・園内灯は、広場として必要な明るさを確保しながら、隣接してお住まいの方に配慮したものとする。
- ・植栽の水撒き用の水道を設置する。

上：看板のイメージ、下：ベンチのイメージ▶



道路境界部

■塀

- ・旧川越街道の歴史を感じさせる、北町上宿公園のような、なまこ壁風の塀と擬木柵で構成する。

■植栽

- ・塀を後退させて道路側にも植栽を配置する。

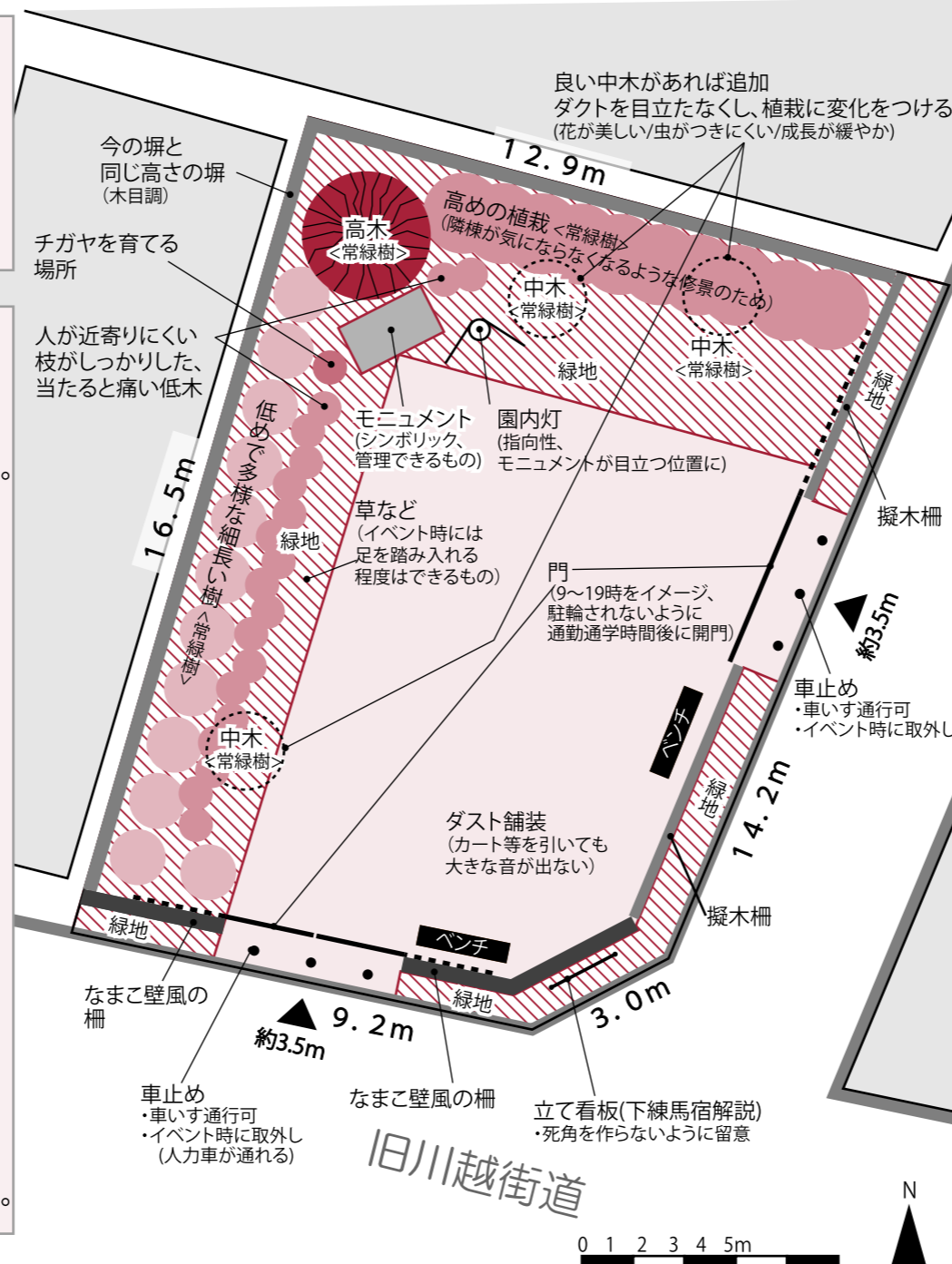
上：なまこ壁風(旧川越街道側)▶
下：擬木柵(東側道路側)



管理

- ・出入口は、夜間に閉じることができる構造とする。
*実際の設計にあたっては一部変更になる可能性があります。

門扉のイメージ▶



ヒアリング

第3回でまとめた検討会案(たたき台)をもとに、予定地周辺の方にご意見を伺いました。頂いたご意見をふまえ、内容を再確認し、検討会案をとりまとめました。

計画案に対する意見や配慮してもらいたいことはありますか？

- ・整備内容について問題はない。
- ・地元で管理を行うのか。閉められない場合夜間が不安。
- ・通りから全て見える犯罪の起こらない場所であってほしい。
- ・園内灯は明るすぎないほうがよい。
- ・敷地は狭いが、良く考えつくされた公園になると思う。
- ・ベンチが少ない感じもするが、イベントで利用すると邪魔になるとも考える。